

令和5年度 書道Ⅱ シラバス

科目名	単位数	対象学年・コース	履修
書道Ⅱ	2単位	2年 普通科・普通コース (1組)	選択
教科書 主な教材	<ul style="list-style-type: none"> ・光村図書〔書Ⅱ〕 ・硬筆ノート ・DVD 資料集 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の創造的な諸活動を通じて、書を愛好する心情を育てる ・感性を高め、書の文化や伝統について理解を深める ・個性豊かな表現と鑑賞の能力伸ばす 		
評価の観点	①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度		
評価の方法	① 学習活動への参加のしかたや態度 ② 提出作品 ③ 作品ファイルの整理状況 ④ 「学習のまとめ」の内容 ※上記のような評価方法を用いて、評価の3つの観点で総合的に評価する		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めるので、用具を準備し着席していること ・用具は大切に扱い、特に、筆と硯はきれいに洗うこと ・次の人の為に、片付けはきちんとすること 		

年間学習計画

学期	月	単元名	学習のねらい	学習内容
一 学 期	4	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・『書道Ⅱ』での学習目標を確認させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・『書道Ⅰ』の学習とその成果について、各自振り返る
		漢字の書の美に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書に興味、関心を持ち歴史的位置付けを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ鑑賞『篆書のレッスン』
	5	①篆書の古典を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の時代背景や古典について、鑑賞、臨書し特徴を理解する ・篆書の基礎的な用筆・運筆の技法を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の古典作品の鑑賞と臨書 甲骨文 金文・毛公鼎 泰山刻石 石鼓文 ・半切作品の制作
	6	②隸書の古典を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・隸書に興味、関心をもち、歴史的 position付けを理解する ・基本的な用筆、運筆、結構を習得し、その特徴を理解する ・八分隸の理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ鑑賞『隸書のレッスン』 ・隸書の古典作品の鑑賞と臨書 礼器碑・石門頌 居延新簡
	7	③草書・行書の古典を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の成立について知識を得る ・行草書の古典学習を通して行書及び草書の用筆法と結構法を学ぶ ・気脈の貫通とその中での変化を表現する方法を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ鑑賞『草書の歴史と書法』 ・草書、行書の古典作品の鑑賞と臨書 十七帖

学期	月	単元名	学習のねらい	学習内容
一学期	7	③草書・行書の古 典を学ぼう	・行草書の作品を鑑賞する能力を養う	書譜 興福寺断碑 温泉銘など ・半切作品の制作
二学期	9 5 12	作品制作 『刻字』	・刻字が書の表現方法のひとつであることを理解する ・自分の意図する表現構成を工夫する ・刻字の手順と技法を理解する ・展示、鑑賞することにより、作品の出来を自己評価し、次の学習への積極的な態度を育てる	・ビデオ学習 『刻字を楽しむ』 ・表札、自分の好きな漢字一字、二字、ことわざ、熟語、詩文等を素材として作品を制作する
		漢字仮名交じりの 書の美に親しもう	・漢字と仮名の基本的な調和について理解する ・用具、用材や字形、文字の大きさを配置の工夫で全体構成を工夫をもって意図に即した表現をする ・祝儀、不祝儀袋の基礎知識を身に付ける	・年賀状を書く ・カレンダー作成 ・マーブリング ・結び切り、蝶結び、墨色の意味を理解する ・筆ペンを使う
三学期	1 5 3	仮名の書の美に 親しもう	・書道Ⅰの学習をもとに、仮名の種類に興味、関心を持つ ・仮名の書の書風を鑑賞し、表現の多様化を理解する	・ビデオ学習 『仮名のレッスン』 ・古筆の鑑賞と臨書 高野切一種 三色紙を通しての散らし書き
		書の世界を広げ よう	・これまでの学習の成果を作品として発表することにより、新たに自己を客観的に見つめる (ロビーに展示)	・作品をみんなで展示する ・互評会 ・自己評価
[課題、提出物等] ① 毎時間の学習内容は、「学習ノート」に記録する ② 課題に応じて作品を提出する ファイルに入れて整理する ③ 学習ノートとファイルをもとに「学習のまとめ」を行い、自己評価する				